

朱一だよ()

京都市立朱雀第一小学校
校長 橋本真千子
(TEL 841-3201)
平成27年3月16日発行
学校評価特別号



子どもにとって「明るく楽しい学校」をめざして！

先日、皆様をお願いしていた後期学校評価の結果についてご報告いたします。学校評価票は児童数分487枚をお配りしました。458枚の回答をいただき、回収率は94パーセントでした。ご協力ありがとうございました。

今年度2回目の今回は、第1回目と同じく保護者の方々が学校の取組に対してどのように評価されたか、ご家庭での取組についてどのように自己評価されているか、そして子どもたちの現状をどのように感じているか、の3つの観点でご記入いただきました。前期、後期の結果を上下に並べて表にしましたので、裏面をご覧ください。

前期、後期の結果を並べて見比べたところ、大きな変化は見られませんでした。しかし、細かく読み解いていくと、いくつかの特徴的な項目がありました。

まず、家庭学習についてです。（表中①）前期と後期を比べると、わずかではありますが、肯定的な評価が増加しました。学校、家庭、子どもの3観点ともに増加していることから、少しずつではありますが、家庭学習の習慣が確立してきている兆しだと考えています。もちろん、これからも継続した指導を行います。

次に、基本的な生活習慣についてです。（表中②）この項目については、前期よりも後期の方に落ち込みが見られました。この結果は、1月に行った生活習慣についてのアンケート結果からも読み取ることができます。また、このアンケートでは、学年が上がるにつれて就寝時刻が遅くなっていることも結果に表れています。「遅い時刻まで起きている → 起床時刻が遅い → 朝食をしっかりと摂ることができない → 1時間目から集中できない」という負の流れが定着しないように、家庭も学校もそれぞれの立場で見守り、声をかけていくことが大切です。

最後に、この結果から、まだまだ様々な取組が定着したおらず、今後も地に足の着いた、継続した取組を行うことが、変容につながっていくのではないかと考えています。また来年度は、保護者の方々にはっきりとした評価基準をお示しすることで、より正確な評価を頂けると考えています。学校、家庭が手を携えて、共に子どもたちの健全育成のためにがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。

調 査 項 目	学校の取組				家庭の取組				子どもの様子			
	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	よくできている	できている	あまりできていない	できていない	よくできている	できている	あまりできていない	できていない
読書に親しむこと(前期)	36%	55%	9%	0%	16%	34%	46%	4%	24%	36%	31%	9%
読書に親しむこと(後期)	37%	55%	8%	0%	11%	38%	45%	6%	22%	34%	37%	7%
					①							
すすんで家庭学習を行うこと(前期)	18%	63%	19%	1%	12%	53%	32%	2%	15%	46%	34%	6%
すすんで家庭学習を行うこと(後期)	19%	65%	16%	0%	10%	57%	31%	3%	14%	48%	33%	5%
思いやりの心を育てること(前期)	28%	66%	6%	1%	19%	72%	9%	0%	26%	64%	10%	0%
思いやりの心を育てること(後期)	26%	67%	7%	0%	17%	72%	11%	0%	23%	66%	10%	0%
きまりや約束を守ること(前期)	28%	65%	7%	0%	19%	67%	14%	0%	20%	63%	17%	1%
きまりや約束を守ること(後期)	23%	69%	7%	0%	18%	67%	15%	0%	21%	61%	17%	1%
将来の夢や希望をもたせる(前期)	15%	67%	18%	1%	16%	66%	18%	0%	22%	57%	21%	1%
将来の夢や希望をもたせる(後期)	17%	65%	18%	0%	15%	64%	20%	0%	19%	59%	21%	1%
					②							
基本的な生活習慣が身につくようにする(前期)	25%	70%	4%	0%	18%	71%	11%	1%	22%	59%	19%	1%
基本的な生活習慣が身につくようにする(後期)	25%	68%	7%	0%	19%	61%	20%	0%	22%	57%	21%	1%